

ライスマのローンはこうして役立ってます②

ライスマでは、これまでに1100人以上の人々にローンサービスの提供を行ってきました。回収できないことも多いのでは？とよく聞かれます。もちろん返済が遅れるということはしょっちゅうありますが、回収できなかったというのはいまだに「ゼロ」です。カンボジア人たちの良いところともいえますが、一番大事なものは、返済の遅れが起こったときの対処です。私がいつもスタッフに言ってるのは、①お金を借りたときと今、何が変わったかを確認、②その上で、良い解決方法を考える、です。子供が病気になった、バイクで事故にあった、会社が倒産した・・・ちゃんと理由があれば、返済期間を延長して1回あたりの返済金額を減らすとか、遅延損害金（ペナルティ）を免除するとか、早めに手を打てば、お互いもめることなく問題解決ができます。



①ソクチョウさんとロックミシン

カーットの注文を取り付けることができました。

スカートは腰の部分にゴムを入れてかがり縫いするものなので、早速ロックミシンの大活躍となり、ローン完済後にはまた新たに生地を購入のため再度ライスマのローンを活用されています。



③製品をおみやげに購入する上中会長

ソム・ソクチョウさんは、プノンペン空港の近くの自宅で縫製の内職をしています。旦那さんはタクシーの運転手で共稼ぎですが、5人の子供を養うにはいっぱいはいっぱいです。

中古の工業用ミシンを使ってこれまでいろいろな縫製をしてきましたが、受注できる製品に限られるので収入がもう一つ上りませんでした。かがり縫いのできるロックミシンがあれば、もっともっというろんな種類の仕事をもらうことができると、友達に勧められましたが、ミシンを買うお金が足りませんでした。

そこでライスマからの借入金でロックミシンを買ったところ、近所の工場から大量にス



②中古ですが性能は十分のロックミシン

にソクチョウさん宅を訪れた上中会長も、スカートのできばえのよさにびっくり、お土産に買い求めてました。

お子さんたちが成長されて、また学費が大変なときにはぜひひまたライスマの学生ローンも利用いただきたいですね。